

### 第3回 理事会

日 時：令和5年6月16日(金)12:00~12:55

場 所：東京大学柏キャンパス新領域環境棟4階会議室  
(Web会議併用)

出席者：長田会長(議長)、清水副会長、北田副会長、  
末永常務理事、池見、稲垣、太田、大津、小俣、笠、  
佐々木、竹村、徳永、西山、長谷川(淳)、平野、  
村上、三好、和田各理事、野村、緒方各監事

欠席者：大谷、長谷川(信)、林、船山、升元、  
三田村各理事  
(理事25名中19名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

#### 1. 前回議事録の確認

- ・令和5年5月24日開催の令和5年度第2回理事会の議事録案について、一部修正の上、承認した。

#### 2. 審議事項

##### 1) 会員状況の確認

- ・事務局長より説明があり、審議の結果、正会員8名、学生会員5名、定期購読会員1社の入会を承認した。
- ・6月16日時点において、正会員1,820名、学生会員52名、名誉会員65名となり、総数は1,937名であることを確認した。

##### 2) 委員の新任について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、編集委員会の1名の新任、災害地質研究部会の1名の新任の合計2名の新任について承認した。

##### 3) 全国地質調査業協会連合会60周年寄稿文について

- ・会長より説明があり、審議の結果、寄稿文を提出することについて承認した。

#### 3. 本部からの報告事項

##### 1) 収支状況について

- ・事務局長より、令和5年度4月分の収支状況の説明があった。
- ・事業収入の学会誌等頒布収益および事業費支出のその他事業活動費で計上している「土砂災害の疑問55」は、現在書店にある在庫を購入・販売していく計画に基づくことが確認された。  
また、予算根拠の細目の誤記は次回までに確認し修正することとした。

##### 2) 日本地球惑星科学連合第28回学協会長会議について

- ・会長より議事録について説明があり、2023年連合大会の報告、日本学術会議の近況、次期学協会長会議議長の選任などが議題となっていることが確認された。

##### 3) 他学協会からの依頼

- ・常務理事より、日本粘土学会「第66回粘土科学討論

会」への後援、フィールドの達人企画委員会「令和5年度応用地質技術実践講座」への共催、物理探査学会「令和5年度物理探査セミナー」への後援、地盤工学会「第58回地盤工学研究発表会におけるダイバーシティ関連行事」への後援について、総務委員会で審議した結果、それぞれ承諾されたことが報告された。ただし「令和5年度応用地質技術実践講座」については、共催の依頼であったものの、依頼内容が、共催・協賛・後援等の依頼の応諾に関する規程に基づき「協賛」とであると判断し、協賛とすることとなったことが確認された。

・共催・協賛・後援等の依頼の応諾に関する規程には、「共催」が「原則として共催金を拠出するもの」を対象としていることから協賛の判断に至ったものの、必ずしも経費を負担しない場合においても共に責任を負う場合には共催と称する考え方も存在することから、規程の改定も含め、総務委員会で検討することとなった。

・常務理事より、「令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(科学技術賞、若手科学者賞、研究支援賞)受賞候補者の推薦」について報告された。候補者があれば連絡することとなった。

#### 4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

##### 1) 総務委員会

- ・6月12日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・常務理事より現在の検討事項として、CPD申請登録方法が挙げられること、謝金及び旅費規程については改定を見送ったことが報告された。
- ・委員会等への旅費が求められた場合には、原則として拠出しないこととし、オンラインでの参加などで対応することとなった。

##### 2) 応用地質学教育普及委員会

- ・5月29日開催の委員会議事録が提出された。
- ・担当理事より、小山ダムの入門講座が完了し、講座開始前に5名の、講座終了後に2名の新規会員の入会があったことが紹介された。

#### 5. その他

- ・担当理事より、広報に関するアンケートが開始されており、回答頂きたいとの依頼があった。